

しかし後に、ウィルヒョーという病理学者が、“普通の人”が関節炎・膝の病気やくる病に罹ってそうになっていたことを立証しているんですね。

ネアンデルタール人は世界各地で多数発見されるんですが、最初に発見されたネアンデルタール人以外は、いずれも直立歩行ができた人骨だったんです。

現代人と変わらない人骨・スタイルだったんですね。これは立派な“人”なんですよ。

食事でもナマのものを食ってたというよりも、燻製やローストなどの調理をしていたこと、また、機織りの機械が発見され、ポンチョに似た衣類を着ていたことも分かっています。

そして、洞窟の中には炉床（ろしょう/火を焚いても下が溶けないような細工）があり、壁には絵画が描かれ、縦笛のような楽器も発見されたんです。

彼らは美術・音楽・アートをたしなむことができた人たちだったんですね。

ただ、使っていた道具が石器。住んでいたのが洞窟。原人と現代人の両方の面がある。

だから原人なんだ。そう言うんですけど、これは“普通の人”です。

今言った特徴についての出典は…ウィキペディアです。

なので、皆さんもネアンデルタール人のところを見たら分かりますように、今ほとんどの人類学者は、現代人と同じ“普通の人”とみなしているということなんですね。

聖書は“ネアンデルタール人のように洞窟に住み、非常に原始的な生活をしている、しかしながら普通の人類”について語っています。

ヨブ記 30 章

4 彼らは陸（おか）ひじきや藪の葉を摘み、えにしだの根を食物とする。

これは現代人や普通の文明人が食べない物です。文明人なら栽培された野菜を食べると思います。

陸ひじき・藪の葉・えにしだの根。非常に食べにくい物、野生に群生しているような物を、なんとか食べている。なぜそんなことをしたんでしょう。

5 世間からは追い出され、人々は盗人に叫ぶように、彼らに大声で叫ぶ。

彼らにはある事情があったんです。やらかした。それまで住んでいた文明圏で村八分にされるような、やってはならない事・タブーを犯してしまったんですね。それで文明圏から追い出された。

6-7 谷の斜面や、土の穴、岩の穴に住み、藪の中でいななき、いらくさの下に群がる。

集団生活をしている。ということは、一人ぼっちで追い出されたのではなく、一族として追放されている。なので社会を営んでいる。

しかし、文明圏と完全に断裂されているので、何から何まで一から自分たちで作らないと駄目。

そして、彼らの住みかは谷の斜面・土の穴・岩の穴。ネアンデルタールの谷で発見されたんです。

なぜそうなったのか。

8 彼らは愚か者の子たち、名もない者の子たち、国からむちでたたき出された者たちだ。

つまり、やらかした一族なんです。時の権力者の逆鱗に触れたのか、当時の文明圏で絶対にやったらあかん事をやらかしたのか、何らかの理由で、「おまえら一族、こっから出ていけ！」と追放され、やむなく文明圏の外で一から生活を始めた。なので、石器から始めるしかなかったのです。

彼らには文明圏の記憶があるので、火を使うこと・言葉を使うこと・絵画や音楽をたしなむことはできたでしょうが、文明圏から文物（ぶんぶつ）や楽器の入手はできなかったので、文明圏のものとは比べると水準の低いものしかなかった。

しかし、やっていたのは文明を知っている人たちの生活なんですね。

これ、すごいと思いませんか。ネアンデルタール人のような人たちは、実は社会から追放された人たちで、洞窟で生活していることを、彼ら（*ヨブたち）は知っていたんですね。

これを目撃者証言として語っているのはヨブです。

ヨブはアブラハム・ヤコブ・イサク時代、族長時代の人です。今から約 4000 年前の人。

その時代に、このような人たちがいたということを語っている。

つまり、ネアンデルタール人は原人ではなく“普通の人”です。

ただし、事情があって洞窟に住まざるを得なくなった。

そんな問題は世界のあらゆる文明圏にあります。聖書もそれを証言しているんですね。

さて、今日の結論です。人の先祖は人でした！ 最初の人神が造られたアダムとエバです。

人は猿から進化したのではない。

神は人を初めから神のかたちに似せて、尊厳あるものとして造られました。

あなたのルーツは猿なんかじゃありません。人です。神のかたちに似せて造られたアダムがあなたのルーツです。そして、アダムを造られた神はあなたの魂の親なのです。

これ以上に誇らしいルーツはないのではないかと思います。

ではまた このチャンネルでお目にかかりましょう。

よろしければ、チャンネル登録もお願いします。皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。